



2023年3月期 第2四半期決算短信(日本基準)(非連結)

2022年11月4日

上場会社名 麻生フォームクリート株式会社
コード番号 1730 URL <https://www.asofoam.co.jp/>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 花岡 浩一

問合せ先責任者 (役職名) 取締役人事総務部長 (氏名) 井上 喜博

TEL 044-422-2061

四半期報告書提出予定日 2022年11月11日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2023年3月期第2四半期の業績(2022年4月1日～2022年9月30日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第2四半期	1,777	3.5	79		74		53	
2022年3月期第2四半期	1,717	15.4	108		102		72	

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第2四半期	15.81	
2022年3月期第2四半期	21.31	

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年3月期第2四半期	3,394	1,358	40.0
2022年3月期	3,300	1,411	42.8

(参考)自己資本 2023年3月期第2四半期 1,358百万円 2022年3月期 1,411百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期		0.00		0.00	0.00
2023年3月期		0.00			
2023年3月期(予想)				10.00	10.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2023年3月期の業績予想(2022年4月1日～2023年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	4,000	11.3	50		60		42		12.30

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2023年3月期2Q	3,420,000 株	2022年3月期	3,420,000 株
期末自己株式数	2023年3月期2Q	6,271 株	2022年3月期	6,232 株
期中平均株式数(四半期累計)	2023年3月期2Q	3,413,745 株	2022年3月期2Q	3,413,768 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	8
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
3. その他	10
受注高、完成工事高及び繰越工事高	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期累計期間におけるわが国経済は、景気を持ち直しが期待されたものの、新型コロナウイルス感染症の感染者数の増減が繰り返され、またウクライナ情勢の長期化や円安の進行による資源価格、原材料価格などの輸入物価の上昇もあり、景気は不透明かつ不安定な状況で推移いたしました。

建設業界におきましては、2022年度の建設投資の名目値は増加が見込まれているものの、政府建設投資については全体的に予算の執行状況が思わしくなく受注競争が激化し、また建設資材の価格上昇や労務単価の高止まりもあり、厳しい経営環境で推移いたしました。

このような状況の下、当社は、新型コロナウイルス感染症の感染予防に注力するとともに、当事業年度を初年度とする3か年中期経営計画の目標達成に向け営業と施工の効率化に取組み、受注量の獲得と収益性の改善をはかってまいりました。

その結果、当第2四半期累計期間の業績は、見込んでいた公共工事の発注の遅れが一部で見られ、また受注競争の激化による失注もあり、受注高が1,864百万円（前年同四半期比7.4%減）、売上高が1,777百万円（前年同四半期比3.5%増）となりました。

各段階の損益につきましては、建設資材価格の上昇による影響はありませんでしたが、売上高の絶対額の不足や、地盤改良工事での複数の施工トラブル発生による工事原価の増加もあり販管費を賄えず、営業損失△79百万円（前年同四半期は営業損失△108百万円）、経常損失△74百万円（前年同四半期は経常損失△102百万円）、四半期純損失△53百万円（前年同四半期は四半期純損失△72百万円）となりました。

主要な工事の状況は、次のとおりであります。

(気泡コンクリート工事)

受注高は、軽量盛土工事が見込んでいた一部大型工事の発注遅れがありましたが656百万円（前年同四半期比1.2%増）、管路中詰工事も見込んでいた一部大型工事の元請けからの発注時期の翌事業年度へのずれ込みがありましたが492百万円（前年同四半期比21.8%増）と増加したものの、空洞充填工事が見込んでいた一部大型工事の発注遅れや失注などから246百万円（前年同四半期比39.5%減）と減少したことで、気泡コンクリート工事全体の受注高は1,395百万円（前年同四半期比4.4%減）となりました。

完成工事高につきましては、空洞充填工事が受注高の減少により277百万円（前年同四半期比8.7%減）と減少しましたが、軽量盛土工事が585百万円（前年同四半期比1.8%増）、管路中詰工事が392百万円（前年同四半期比11.8%増）と増加したことで、気泡コンクリート工事全体の完成工事高は1,255百万円（前年同四半期比2.1%増）となりました。

(地盤改良工事)

価格競争が激しく、見込んでいた複数の大型工事の失注などにより受注高は468百万円（前年同四半期比15.9%減）となりました。

完成工事高につきましては、前事業年度からの繰越工事が多かったことで511百万円（前年同四半期比10.2%増）となりました。

なお、当社の主たる事業の特徴として、完成工事高の割合が下半期に偏るといった傾向があります。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期会計期間末における資産合計は、前事業年度末に比べ93百万円増加し3,394百万円となりました。その主な要因としましては、現金預金が73百万円、電子記録債権が42百万円減少しましたが、契約資産が132百万円、完成工事未収入金が43百万円、繰延税金資産が20百万円増加したことなどによるものであります。

負債合計は、前事業年度末に比べ146百万円増加し2,035百万円となりました。その主な要因としましては、電子記録債務が30百万円、未払金が18百万円減少したものの工事未払金が93百万円、借入金が増加した85百万円増加したことなどによるものであります。

純資産合計は、前事業年度末に比べ52百万円減少し1,358百万円となりました。その主な要因としましては、当第2四半期累計期間に四半期純損失を計上したことにより、利益剰余金が減少したことなどによるものであります。

(キャッシュ・フローの状況)

当第2四半期累計期間におけるキャッシュ・フローの状況は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動に使用した資金は48百万円（前年同四半期は55百万円の使用）となりました。これは主に、減価償却費47百万円、法人税等の還付額18百万円、仕入債務が92百万円増加したものの、税引前四半期純損失△74百万円の計

上と売上債権及び契約資産が145百万円増加したことなどによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動に使用した資金は103百万円(前年同四半期は81百万円の使用)となりました。これは主に有形固定資産の取得による支出であります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動により得られた資金は78百万円(前年同四半期は137百万円の収入)となりました。これは主に、長期借入れによる収入200百万円、長期借入金の返済による支出114百万円などによるものであります。

これにより当第2四半期会計期間末の現金及び現金同等物の四半期末残高は、前事業年度末に比べ73百万円減少し、656百万円となりました。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想につきましては、2022年10月28日に公表しました2023年3月期通期の業績予想について、変更はありません。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2022年3月31日)	当第2四半期会計期間 (2022年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金預金	730,184	656,234
受取手形	21,685	29,031
電子記録債権	239,418	197,230
完成工事未収入金	447,715	491,304
売掛金	275	4,972
契約資産	83,043	215,404
未収還付法人税等	20,688	—
未収消費税等	7,667	—
未成工事支出金	930	13,411
原材料及び貯蔵品	52,009	67,640
前払費用	18,219	19,948
その他	4,369	5,752
流動資産合計	1,626,208	1,700,930
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	42,759	41,154
構築物（純額）	1,090	1,400
機械及び装置（純額）	213,029	198,981
車両運搬具（純額）	131	112
工具、器具及び備品（純額）	12,813	17,999
土地	1,100,858	1,100,858
リース資産（純額）	35,311	29,154
建設仮勘定	6,446	—
有形固定資産合計	1,412,441	1,389,662
無形固定資産		
商標権	616	583
ソフトウェア	4,269	23,583
電話加入権	2,350	2,350
ソフトウェア仮勘定	2,877	2,877
無形固定資産合計	10,113	29,394
投資その他の資産		
投資有価証券	24,925	26,507
関係会社出資金	36,668	36,668
破産更生債権等	4,553	4,553
長期前払費用	2,646	2,563
繰延税金資産	106,403	127,329
敷金及び保証金	13,364	12,905
ゴルフ会員権	83,505	83,505
貸倒引当金	△19,968	△19,968
投資その他の資産合計	252,098	274,064
固定資産合計	1,674,654	1,693,121
資産合計	3,300,862	3,394,051

(単位：千円)

	前事業年度 (2022年3月31日)	当第2四半期会計期間 (2022年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形	131,688	129,213
電子記録債務	337,431	306,706
工事未払金	263,545	356,731
1年内返済予定の長期借入金	209,964	218,644
リース債務	13,285	12,943
未払金	110,226	91,606
未払費用	4,250	6,241
未払法人税等	3,336	5,148
未払消費税等	—	8,113
未成工事受入金	11,464	7,617
賞与引当金	26,197	37,944
工事損失引当金	—	2,715
流動負債合計	1,111,388	1,183,625
固定負債		
長期借入金	457,029	533,697
リース債務	35,446	28,938
退職給付引当金	245,006	245,313
役員退職慰労引当金	40,541	43,929
固定負債合計	778,024	851,877
負債合計	1,889,412	2,035,502
純資産の部		
株主資本		
資本金	209,200	209,200
資本剰余金		
資本準備金	180,400	180,400
資本剰余金合計	180,400	180,400
利益剰余金		
利益準備金	24,050	24,050
その他利益剰余金		
別途積立金	885,000	885,000
固定資産圧縮積立金	591	538
繰越利益剰余金	113,044	59,111
利益剰余金合計	1,022,686	968,699
自己株式	△1,553	△1,572
株主資本合計	1,410,733	1,356,726
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	716	1,822
評価・換算差額等合計	716	1,822
純資産合計	1,411,449	1,358,549
負債純資産合計	3,300,862	3,394,051

(2) 四半期損益計算書

第2四半期累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自2021年4月1日 至2021年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自2022年4月1日 至2022年9月30日)
売上高	1,717,815	1,777,561
完成工事高	1,709,743	1,766,682
商品売上高	8,071	10,879
売上原価	1,465,139	1,495,888
完成工事原価	1,461,238	1,487,841
商品売上原価	3,900	8,047
売上総利益	252,676	281,672
完成工事総利益	248,504	278,840
商品売上総利益	4,171	2,831
販売費及び一般管理費		
役員報酬	22,950	27,821
従業員給料手当	106,297	104,514
賞与引当金繰入額	23,109	21,891
退職金	—	1,562
退職給付費用	7,657	7,337
役員退職慰労引当金繰入額	3,595	3,387
法定福利費	22,720	22,424
福利厚生費	1,683	1,459
修繕維持費	8,002	8,665
事務用品費	1,876	2,193
通信交通費	23,804	27,066
動力用水光熱費	2,923	3,744
調査研究費	24,217	27,279
広告宣伝費	1,913	7,700
交際費	2,807	4,754
地代家賃	19,129	18,096
減価償却費	5,430	8,642
租税公課	11,185	11,094
保険料	2,105	2,184
雑費	70,146	49,671
販売費及び一般管理費合計	361,554	361,492
営業損失(△)	△108,878	△79,819

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自2021年4月1日 至2021年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自2022年4月1日 至2022年9月30日)
営業外収益		
受取利息	2	2
受取手数料	172	143
受取配当金	5,742	4,123
為替差益	49	131
受取技術料	4,321	4,080
雑収入	580	526
営業外収益合計	10,868	9,007
営業外費用		
支払利息	3,222	3,089
支払技術料	704	—
雑支出	100	406
営業外費用合計	4,027	3,495
経常損失(△)	△102,037	△74,307
特別損失		
固定資産除却損	0	0
特別損失合計	0	0
税引前四半期純損失(△)	△102,037	△74,307
法人税、住民税及び事業税	1,080	1,080
法人税等調整額	△30,383	△21,401
法人税等合計	△29,303	△20,320
四半期純損失(△)	△72,734	△53,986

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純損失 (△)	△102,037	△74,307
減価償却費	51,995	47,877
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	8,728	306
賞与引当金の増減額 (△は減少)	3,411	11,747
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	△3,304	3,387
工事損失引当金の増減額 (△は減少)	—	2,715
受取利息及び受取配当金	△5,744	△4,125
支払利息	3,222	3,089
為替差損益 (△は益)	△49	△131
固定資産除却損	0	0
売上債権及び契約資産の増減額 (△は増加)	173,059	△145,804
未成工事支出金の増減額 (△は増加)	△726	△12,480
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△4,928	△15,630
仕入債務の増減額 (△は減少)	△94,932	92,653
未払金の増減額 (△は減少)	△7,551	14,121
未収消費税等の増減額 (△は増加)	—	7,667
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△37,732	2,171
未成工事受入金の増減額 (△は減少)	△12	△3,846
その他	△1,533	7,355
小計	△18,136	△63,235
利息及び配当金の受取額	473	532
利息の支払額	△3,529	△3,377
法人税等の支払額	△33,959	△1,080
法人税等の還付額	—	18,529
営業活動によるキャッシュ・フロー	△55,152	△48,633
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△79,508	△82,718
無形固定資産の取得による支出	△2,356	△21,075
投資活動によるキャッシュ・フロー	△81,864	△103,793
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	8,000	—
長期借入れによる収入	300,000	200,000
長期借入金の返済による支出	△122,512	△114,652
リース債務の返済による支出	△14,124	△6,850
自己株式の取得による支出	—	△19
配当金の支払額	△34,019	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	137,344	78,477
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	326	△73,949
現金及び現金同等物の期首残高	663,156	730,184
現金及び現金同等物の四半期末残高	663,482	656,234

(4) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

3. その他

受注、完成工事高及び繰越工事高

(1) 受注高

(単位：千円、%)

期別 工事別	前第2四半期累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)		当第2四半期累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)		前事業年度 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	構成比
気泡コンクリート工事	1,460,407	72.5	1,395,950	74.9	3,025,265	73.2
地盤改良工事	557,138	27.7	468,601	25.1	1,111,866	26.9
その他工事	△4,700	△0.2	—	—	△2,820	△0.1
合計	2,012,846	100.0	1,864,551	100.0	4,134,312	100

(2) 完成工事高

(単位：千円、%)

期別 工事別	前第2四半期累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)		当第2四半期累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)		前事業年度 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	構成比
気泡コンクリート工事	1,229,843	71.9	1,255,459	71.1	2,544,671	71.3
地盤改良工事	464,004	27.2	511,222	28.9	1,005,279	28.2
その他工事	15,895	0.9	—	—	17,775	0.5
合計	1,709,743	100.0	1,766,682	100.0	3,567,726	100.0

(3) 繰越工事高

(単位：千円、%)

期別 工事別	前第2四半期累計期間末 2021年9月30日		当第2四半期累計期間末 2022年9月30日		前事業年度末 2022年3月31日	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	構成比
気泡コンクリート工事	676,447	73.0	1,066,968	82.9	926,478	77.8
地盤改良工事	249,955	27.0	220,787	17.1	263,408	22.1
その他工事	—	—	—	—	—	—
合計	926,403	100.0	1,287,756	100.0	1,189,886	100.0

- (注) 1. 前事業年度以前に受注した工事で、契約の変更により請負金額の増減がある場合は、当四半期受注高にその増減額を含んでおります。したがって、当四半期完成工事高にもかかる増減額が含まれております。
2. 当四半期末繰越工事高は（前事業年度末繰越工事高+当四半期受注工事高-当四半期完成工事高）に一致しております。